

あぶくま えんげい王国

亘理普及センターだより

No. 156

令和8年
6月23日発行

令和7年度宮城県農業・農村女性活躍表彰
(女性優良ビジネス部門) で最優秀賞受賞!

有限会社やさい工房八巻 専務取締役 八巻静さんにインタビュー (4頁)

多様な担い手が築く えんげい王国 巨理・名取

当普及センターでは、令和8年度は右記の4項目を重点活動項目に掲げ、3つのプロジェクト課題等について、関係機関と連携を図りながら、効率的かつ効果的な普及活動を展開します。

令和8年度 プロジェクト課題 活動紹介

いちご新規就農者の地域定着による生産技術向上と経営管理能力の早期習得

(令和8～10年度)

巨理地域のいちご生産は、震災後、養液栽培の高設ベンチを主とする方式に変わり、この15年の間に、親世代から徐々に後継者へと引き継がれています。これまでの新規就農者は、親元就農が多数を占めていましたが、近年は、他県等から来て自営就農する方の割合が増えています。

管内産地は、太平洋沿岸にあることから冬季も日照時間が多く、いちごの栽培適地ではありますが、近年は気候変動による夏季高温等の影響を受けています。更に世界情勢にも影響され、資材価格、人件費が年々上昇しており、生産を行うには、栽培、経営両面からの早期安定化が求められています。

普及センターでは、上記の新規就農者を対象に、基本的ないちご栽培に関する技術習得の他、多くの地元生産者と気軽に話せる関係づくりに取り組みつつ、経営安定と発展に向けた支援を行ってまいります。



▲新規就農者と温度測定のリガーについて検討

下余田Ⅱ期地区におけるほ場整備事業を契機とした営農体制の構築

(令和7～9年度)

名取市下余田Ⅱ期地区では、ほ場整備事業により水田を大区画化し、農地を担い手に集積して作業の効率化を図ろうとしています。

普及センターでは、令和7年度から担い手となる新法人設立準備や活性化推進委員会役員と担い手がメンバーとなる担い手部会の活動を支援しています。

令和7年度の法人設立準備支援では、定款(案)や諸規程(案)が完成しました。その中で法人名が「農事組合法人高柳ファーム」に決まりました。担い手部会活動支援では、高収益作物(えだまめ)実証ほの設置や担い手部会活動を周知するための「担い手部会だより」発行を支援しました。

令和8年度は、9月の法人設立に向けた諸手続きや新しい乾燥調製施設導入に向けた準備、高収益作物(えだまめ)・水稻乾田直播栽培の実証ほ設置、担い手部会勉強会の開催等について関係機関と連携しながら支援してまいります。



▲法人化の話し合い

徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策

令和8年度
重点活動
項目

- (1) 生産技術の高度化による競争力の高い園芸産地の確立
- (2) 次世代につなぐ収益性の高い水田農業・畜産経営の確立
- (3) 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
- (4) 農村環境に配慮した持続可能な農業・農村の構築

土地利用型法人における組織運営の安定化に向けた担い手育成

(令和7～8年度)

東日本大震災の津波被害からの復興と生産再開を目的に設立された「農事組合法人林ライス」は、設立以来、岩沼市の中核的法人として地域農業の維持・発展を牽引しています。

当法人は、近年、若手社員を積極的に採用し、法人役員の指導の下、水稻、大豆、野菜等の担当部門について、日々技術の研鑽に努めています。しかし、役員の大半が70歳代であることから、法人の継続的・安定的な運営のためには、若手従業員の経営知識も含めた幅広い知識の醸成と、さらなる人材の育成・確保を含めた経営計画の作成が喫緊の課題となっています。

そこで、令和8年度も令和7年度に引き続き、人材育成計画を含めた中期経営計画の作成と、若手従業員の一層のキャリア形成を目的とした取組をサポートすることで、組織体制の強化を支援してまいります。



▲社員の提案により栽培を開始したねぎの機械定植

普及センター「重点活動」紹介

プロジェクト課題以外の普及センター活動として、「重点活動」があります。内容は、次のとおりですので、詳しく知りたい方は、どうぞお問い合わせください！

新規就農者の確保・育成支援及び女性農業者の活躍支援	○対象：就農希望者、新規就農者、女性農業者 ○内容：関係機関と連携した就農相談会や就農計画策定支援、就農後の栽培技術支援、女性農業者同士のネットワークづくり支援及び機械操作等の知識の醸成等
農業法人の経営発展に向けた取組支援	○対象：土地利用型法人、園芸法人 ○内容：専門家を活用した課題別個別支援や集合研修会等開催、事業拡大に向けた補助事業活用支援等
既存園芸産地の維持・発展支援	○対象：しゅんぎく・きゅうり生産者、さく・ばら・カーネーション生産者、りんご生産者 ○内容：新規栽培者向けの仕組みづくり、夏季高温対策等の支援、病害虫防除対策の支援、研修会や先進地視察の開催等
スマート農業技術等の取組定着支援	○対象：土地利用型作物生産者、大規模露地園芸生産者（さつまいも、たまねぎ等） ○内容：土地利用型作物及び大規模露地園芸の機械化体系等の定着に向けた課題整理・助言等
グリーンな栽培体系への転換支援	○対象：堆肥の利活用に取り組む生産者、みどり認定志向者、施肥改善希望者等 ○内容：堆肥等有機質資材の有効活用支援、みどり認定の推進、土壌分析に基づいた過剰施肥の改善支援等

◆重点活動の他、一般活動（作物、園芸、畜産等）で広く農業分野を支援しています。

いのちをうばう、夏のひとり作業
(夏の熱中症等対策スローガン)

所長
インタビュー

「儲かる農業をめざし、人との出会いを大切にして、 希望をもって農業に取り組んで欲しい」

〈表紙写真〉 有限会社やさい工房八巻 専務取締役 八巻 静さん

令和7年度宮城県農業・農村女性活躍表彰（女性優良ビジネス部門）で最優秀賞を受賞された有限会社やさい工房八巻 専務取締役 八巻静（しずか）さん（岩沼市）に、駒井所長がお話を伺いました。

所長：静さんは、法人ではトマト部門と経理部門の責任者を務めておられるので、トマトのハウスにお邪魔しました。ハウスは最新型の高軒高ハウスと遜色ないですね。

八巻さん：鉄骨ハウスは平成11年に建てたものですが、平成23年の東日本大震災で津波被災し、当初導入したトマトの水耕栽培システムは壊れ、かん水に利用していた地下水も塩水が入り使えなくなりました。生産活動を再開するため、がれきの片付けや泥かきには各地から応援に来ていただき、国の復興交付金等も活用してその年の11月にはハウスを再建し、生産を再開できました。

所長：大手スーパーへの販売に取り組まれていますね。

八巻さん：当初導入した栽培システムの関係でお世話になった方に紹介していただいた大手スーパーに販売しています。現在、そのスーパーの仙南エリアの店舗に、地元青果市場を介して契約出荷しています。

所長：地域の女性パートの方々が長く働ける工夫はありますか。

八巻さん：現在7人のお母さんたちに働いてもらっていますが、ライフワークバランスを考慮し、孫の子守りや家事などで必要な時は、働き方を相互に調整しています。

所長：若い人へ伝えたいことは。

八巻さん：儲かる農業をしないといけないと思います。資材高騰や最低賃金の上昇など農業経営を取り巻く環境は厳しいので、うちの経営も楽ではないのですが、がんばればこれくらい儲かるということを大事にして欲しいと思います。

所長：女性農業者に向けてメッセージを。

八巻さん：私は、良い人に巡り合えて、いろんな人が色々なことを教えてくれました。助けてくれる人たちがいますので、そうした人たちの助けを借りながら、希望をもって農業に取り組んで欲しいと思います。



▲トマトのスタンドバックのオリジナルキャラクターは、娘さんが小学生の頃に描いたもの。

令和8年度亘理農業改良普及センター職員

技術次長（経営支援担当）
井上

所長
駒井

総括次長
大友

先進技術班

班長 片岡 【野菜】	鈴木 【果樹】	大内 【花き・畜産】	高橋 【作物】
小野寺 【野菜】			会計年度任用職員 水戸 (土壌分析)

地域農業班

佐久間 【野菜】<亘理町>	班長 山家 【作物】<名取市>
直江 【野菜】<山元町>	増田 【花き】<岩沼市>

発行 宮城県亘理農業改良普及センター 〒989-2301 亘理郡亘理町達隈中泉字本木9

電話：0223-34-1141 FAX：0223-34-1143

E-mail：wrnokai@pref.miyagi.lg.jp

https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/

ホームページはこちらから →

(普及活動紹介ブログもこちらからご覧いただけます)

